

情報公開文書

当院では、以下の臨床研究を実施しております。

この研究は、通常の診療で得られた過去の診療記録をまとめることによって行います。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、下記に記載されています、⑥「問い合わせ先」へご連絡ください。

①研究課題名

順天堂医院通院中の慢性疾患(糖尿病・高血圧・脂質異常症・高尿酸血症)外来患者における、癌(肺癌・胃癌・大腸癌)が疑われた場合の追加検査施行率調査及び、潜在担癌患者数の推測

②研究目的

癌は本邦の死因の第一位です。その一方で、癌検診受診率は約30%前後と決して高い数字とは言えません。癌は日本人の健康に深刻な影響を持つ疾患であるにも関わらず、癌スクリーニングの施行率の低さは、重要な問題である可能性があります。しかしながら日常外来において、癌精査目的の検査がどれだけ行われているかを調査した報告は殆どありません。この研究の目的は、保険診療中に癌を疑うような所見や訴えがあったときに、更なる検査としてCTや消化管内視鏡検査などを行った患者様を電子カルテデータを用いて抽出し、外来における癌精査に関する検査の施行率を調査する事を目的としています。そして、外来通院中の患者様の潜在的な担癌患者数を推計する事と併せて、有効ながんスクリーニング方法を検討し、患者様の健康に有益な情報を発信していく事を目指しています。

③研究方法の概要

・対象となる患者様

2011年1月1日から2013年12月31日までに、当院総合診療科・糖尿病内分泌内科・循環器内科に、糖尿病・高血圧・脂質異常症・高尿酸血症/痛風の診断で定期的に通院されていた患者様

・調査項目

胸部レントゲン/CT検査・上部消化管内視鏡/上部消化管造影検査・便検査/下部消化管内視鏡検査などの施行日や処方内容などのデータを、本研究用に作成したデータベースに登録させていただき、結果の解析を致します。

④個人情報の取り扱い

今回の研究は、診療記録から必要な医療情報を収集するのみで、研究に協力することによって、対象患者様に新たに危険や負担がかかることは一切ありません。そして、収集した医療情報は当院で担当医師が責任を持って、個人が匿名化された状態で厳重に管理されます。また、研究結果は専門の学術集会や学術雑誌に発表される事がありますが、患者様の名前や病気のことなどの個人のプライバシーに関する情報が、外部に公表される事は一切ありません。

⑤研究協力への不同意

今回の研究では、皆様からとくにご連絡がない場合には、診療記録から必要な情報を研究のために抽出/利用させていただきます。診療記録の情報の利用をご希望されないようでしたら、どうぞご遠慮なく下記の担当医師までご連絡ください。その場合は、データを消去致します。なお、今回の研究に協力しないことによって、当院での診断・治療において不利益を被ることは一切ありませんので、ご安心ください。

⑥研究の主体および問い合わせ先

研究責任者 藤林和俊 (順天堂医院附属総合診療科 准教授)
電話 03-5802-1553